

東洋町物資配送計画

(東洋町防災備蓄倉庫)

令和4年8月

東洋町

東洋町物資配送計画

目次

第 1 章 総 則	3
第 1 節 計画の趣旨	3
1. 計画策定の目的	3
2. 計画の対象となる期間	3
3. 計画の対象となる範囲	3
4. 用語の定義	4
第 2 節 物資集積拠点の概要	5
1. 施設	5
2. 施設レイアウト	5
3. 施設の運営体制	5
4. 物資量の管理及び町災害対策本部への報告.....	6
5. 今後の検討事項	6
第 3 節 各避難所における物資の管理	6
第 2 章 対 象 施 設	7
第 1 節 支援物資集積倉庫及び防災倉庫、町内避難所位置図.....	7
1. 甲浦地区	128
2. 生見地区	128
3－1. 野根地区.....	9
3－2. 野根名留川地区.....	9
4. 災害時に孤立が想定される奥三地区への支援物資のが配送.....	10
第 2 節 東洋町防災備蓄倉庫概要.....	11
1. 東洋町防災備蓄倉庫周辺図.....	11
2. 東洋町防災備蓄倉庫平面図.....	12
3. 東洋町防災備蓄倉庫諸元.....	12
第 3 章 想 定 物 資 数 量 及 び 配 送 手 段	13
第 1 節 備蓄物資及び流通備蓄物資	13
1. 備蓄物資	13
2. 流通備蓄物資	13
第 2 節 支援物資	13
1. プッシュ型支援物資	13
2. プル型支援物資	13
第 3 節 東洋町防災備蓄倉庫における物資配置.....	14

1. 東洋町防災備蓄倉庫での一時保管及び仕分けの対象となる物資の保管方法.....	14
2. 保管スペースの算定	14
3. 物資配送業務	14
4. 使用する帳簿類	15
第 4 章 事 前 準 備	16
第 1 節 荷役設備と資機材の調達	16
第 2 節 緊急通行車両の事前届出	16
第 3 節 避難所配送システムの事前設定	16
【資料編】	17
1) 備蓄物資保管状況 (第 3 章第 1 節 1 関係)	17
2) 流通備蓄物資に係る協定の概要 (第 3 章第 1 節 2 関係)	18
3) 組織体系及び業務手順	19
4) 備蓄倉庫及び避難所への配送系統	23

第 1 章 総 則

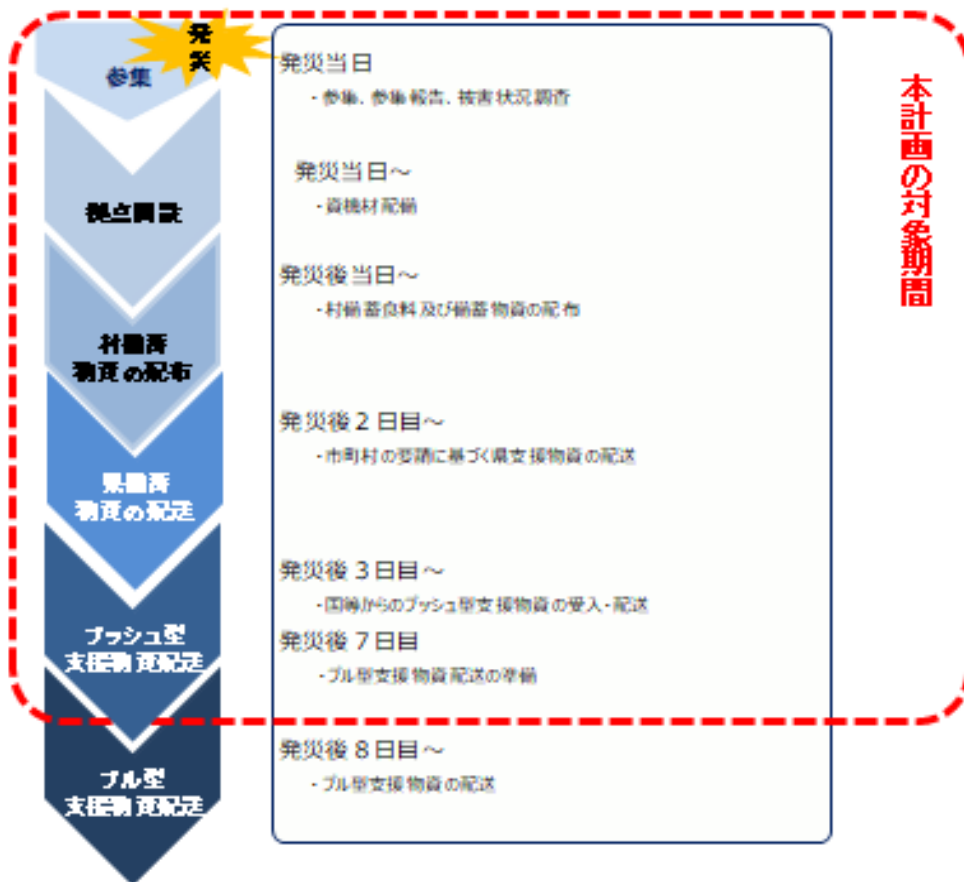
第 1 節 計画の趣旨

1. 計画策定の目的

本計画は、南海トラフ地震をはじめとする大規模災害が発生した際、高知県（以下、「県」とする）や国等からの支援物資を円滑に受け入れるとともに、各避難所へ速やかに配送するための体制や手順を示すものである。

2. 計画の対象となる期間

本計画の対象期間は、発災後 7 日までとする。

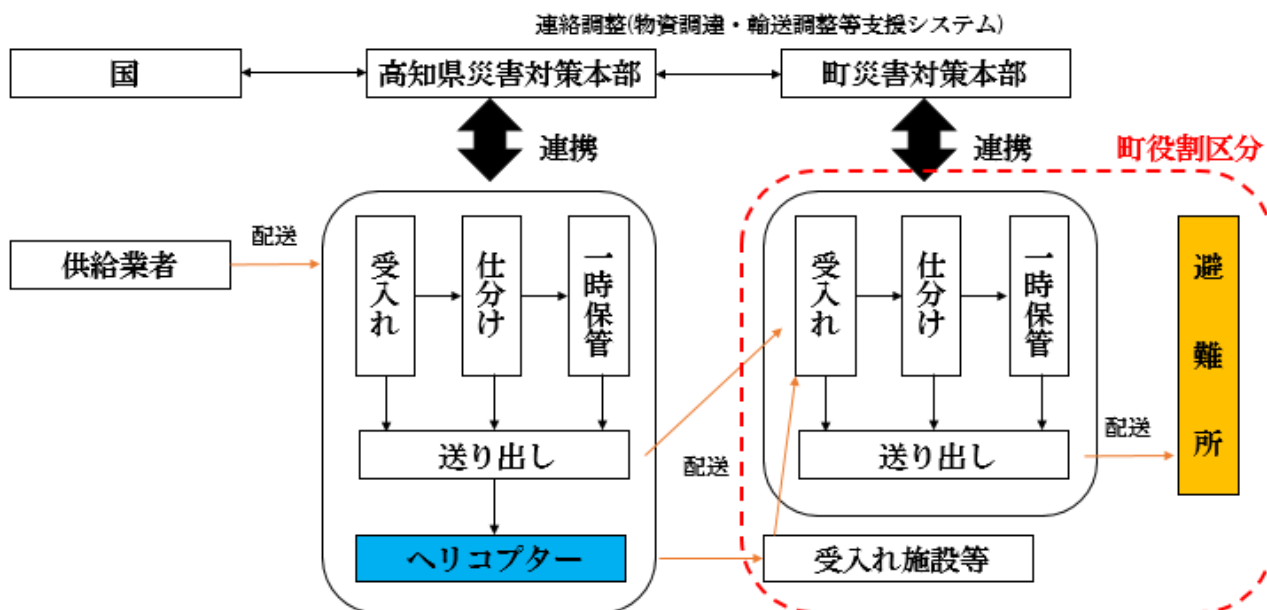


3. 計画の対象となる範囲

本計画は、物資配送における東洋町の役割区分を対象に作成している。

東洋町の役割区分は、物資供給のヘリコプター・県トラックの受け入れ、仕分け、一時保管及び避難所までの配送を対象とする。ただし、陸路による供給路が寸断されている場合は、空路における物資受け入れ以降を役割区分とする。

なお、配送後の避難所での物資管理は、別途、各避難所の「避難所運営マニュアル」に定めるものとする。



4. 用語の定義

本計画中の用語は、以下のとおり定義する。

(1) 支援物資配送（業務）

物資の受け入れ、仕分け、保管、配送の各工程の総称。

(2) 公的備蓄

町や県が、事前に防災倉庫や避難所等に備蓄している食料及び資機材。

(3) 流通備蓄

町や県が、協定等に基づき民間の小売店舗等から調達する食料及び資機材。

(4) 物資集積拠点

発災後に被災者への支援物資を届けるために、支援物資の受け入れ、仕分け、保管を行うことを目的とした施設。

(5) プッシュ型支援

国が、被災者や市町村等からの具体的な要請を待たずに、必要と見込まれる物資を調達し、配送する方法。

(6) プル型支援

国が、「物資調達・輸送調整等支援システム」等を通じ、被災者や市町村等から具体的な要請のあった物資を調達し、配送する方法。

(7) 物流専門家

県又は町の災害対策本部への助言や、物資集積拠点での作業指揮を行える者の総称。

(8) 物流事業者

物流事業を実施している民間の事業者及びトラック協会などの業界団体の総称。

(9) 高知県総合防災拠点

高知県の「広域拠点」及び「地域拠点」の総称。

(10) 広域拠点

高知県総合防災拠点のうち「南海トラフ地震における具体的な応急対策活動に関する計画」における、国からのプッシュ型支援の受け入れ拠点となる、室戸広域公園、高知県立青少年センター、春野総合運動公園、宿毛市総合運動公園の4施設。なお、当町に対しては、県からの支援物資は室戸広域公園から配送され、国からの支援物資は広域拠点である室戸広域公園において受け入れ後、配送される。

(11) 地域拠点

高知県総合防災拠点のうち、広域拠点以外の、安芸市総合運動公園、四万十緑林公園、土佐清水総合公園の3施設。

第2節 物資集積拠点の概要

当町の物資集積拠点は、地域防災計画に定める「東洋町防災備蓄倉庫」とする。

1. 施設

- (1) 所在地 : 東洋町大字河内 1436-1
- (2) 名 称 : 東洋町防災備蓄倉庫
- (3) 所有者 : 東洋町
- (4) 諸 元 : 建築面積 194.15 m² 延べ床面積 231.05 m²
1階床面積 183.060 m² 2階床面積 47.988 m²
- (5) 運 用 : 1階の全てを物資受入機能として活用するものとする。
- (6) 備 考 : 東洋町防災ヘリポートに隣接する。

2. 施設レイアウト

東洋町防災備蓄倉庫の正面出入口を搬入出口として使用する。

プッシュ型支援物資量の想定に基づき物資保管面積を精査し、品目ごとに定めた場所に保管する。

3. 施設の運営体制

物資配送業務の専任職員は置かず、他の業務と兼任することとする

(下記数値は、トラックが到着してから避難所へ輸送するまでに係る人数の想定)。

(1) 総括・記録係：1名

物資調達・輸送調整等支援システムの運用。

支援物資の受入量及び品目等の照合。

町災害対策本部からの配分決定に基づき、配送手配。

(2) 物資管理係：3名

支援物資配送トラックの受け入れ及び荷下ろし。

受入物資の仕分け、数量管理、避難所への配分仕分け。

各避難所に仕分けられた支援物資の、配送車への積み込み。

トラックからの荷下ろし及び積み込みについては、ハンドリフター等を利用する。
室内の物資運搬については、台車等を採用する。

4. 物資量の管理及び町災害対策本部への報告

物資集積拠点での物資数量等の確認については、物資調達・輸送調整等支援システムを通じて行うものとし、町災害対策本部及び各避難所との情報共有及び配送等に関する連携を図る。

5. 今後の検討事項

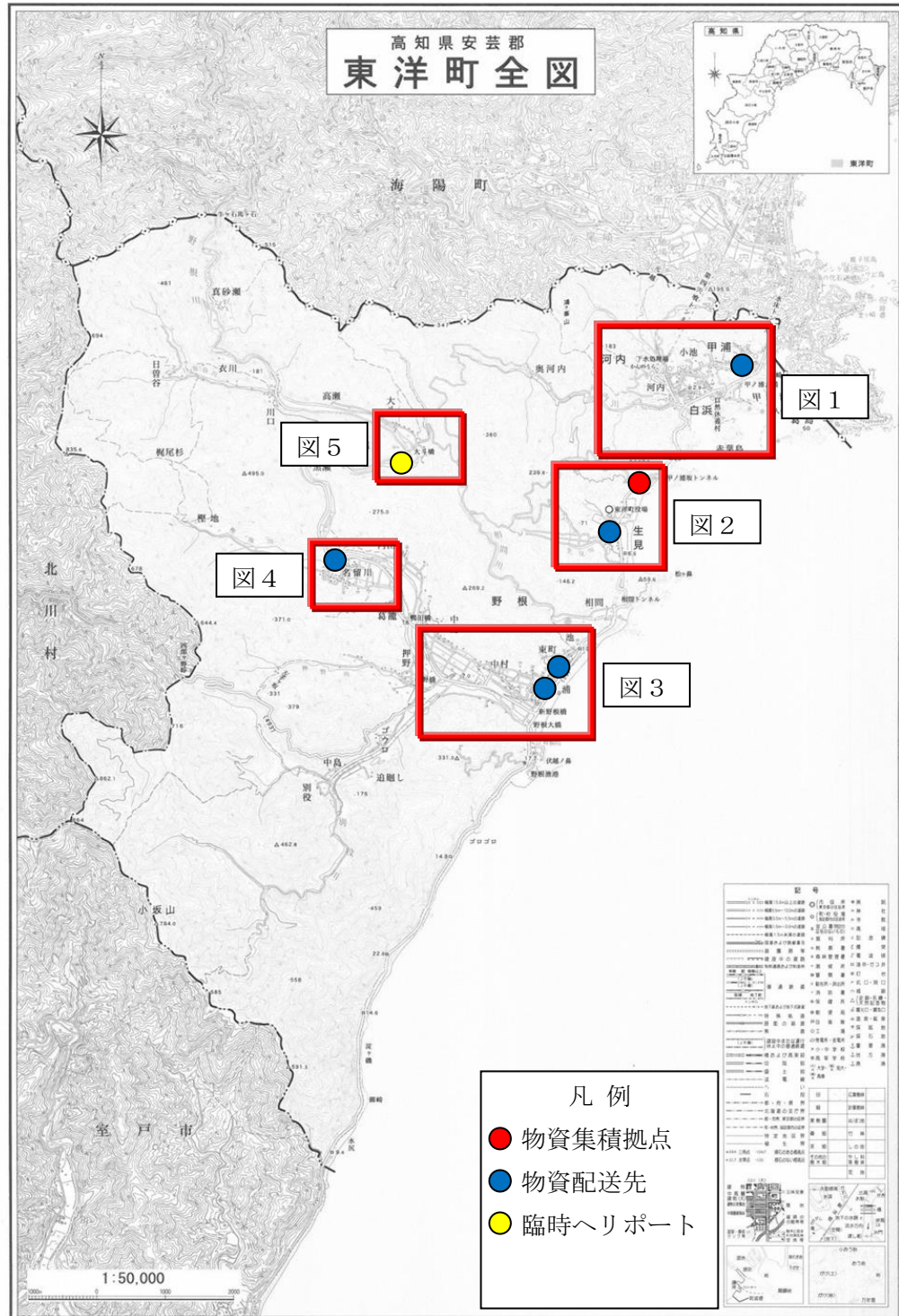
- 計画の評価（本計画の見直し）
- 物資集積拠点における業務の可視化
- 物資集積拠点からの配送手段及びルート確保
- 物資集積拠点の設備強化（必要となる資機材の調達を検討）
- 物資調達・輸送調整等支援システムの訓練による習熟

第3節 各避難所における物資の管理

各避難所における備蓄物資及び支援物資の管理については、避難所運営マニュアルに従うものとし、避難所管理者及び物資管理担当者により適切に行うものとする。

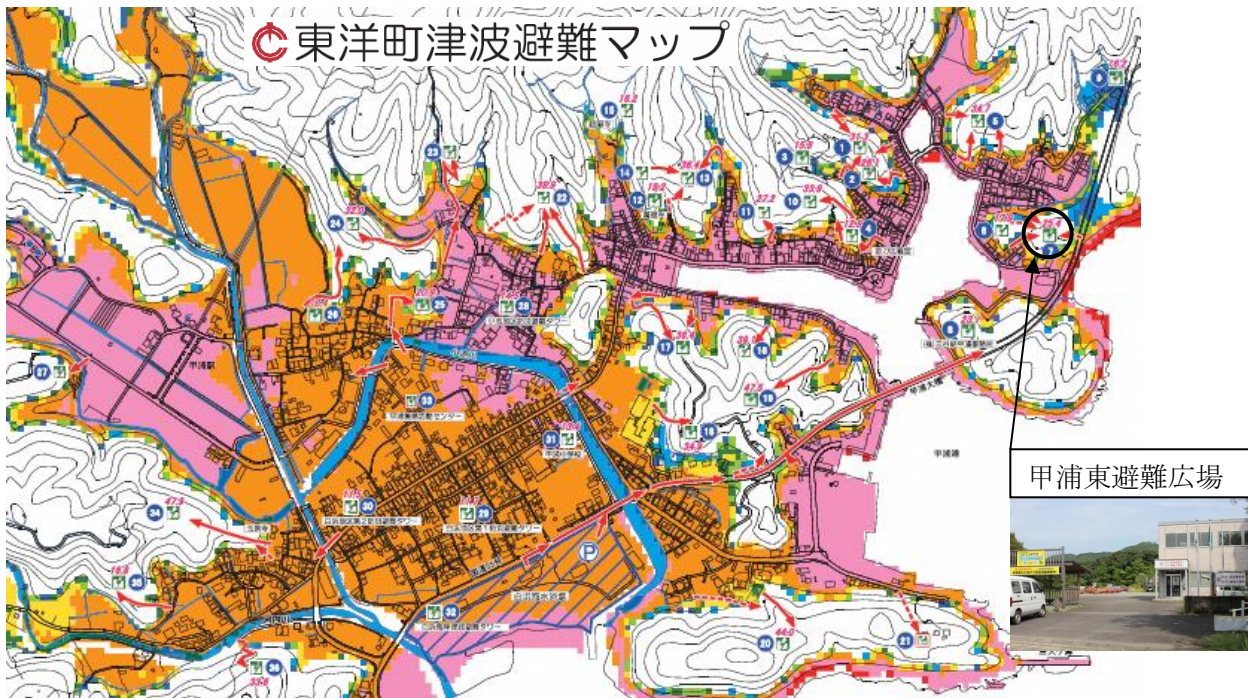
第 2 章 対象施設

第 1 節 支援物資集積場所及び支援物資配送拠点場所、臨時ヘリポート施設位置図



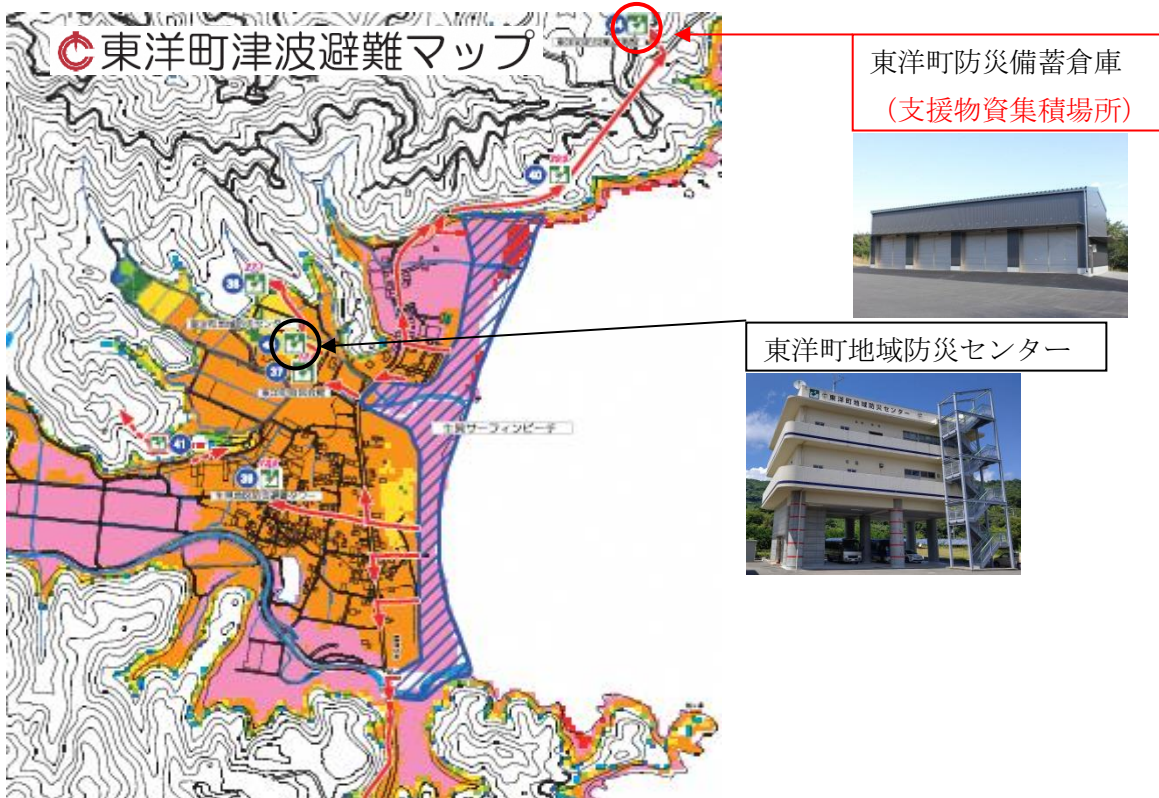
1. 甲浦地区（図1）

甲浦地区の支援物資配送拠点場所は、甲浦東避難広場倉庫を指定する。



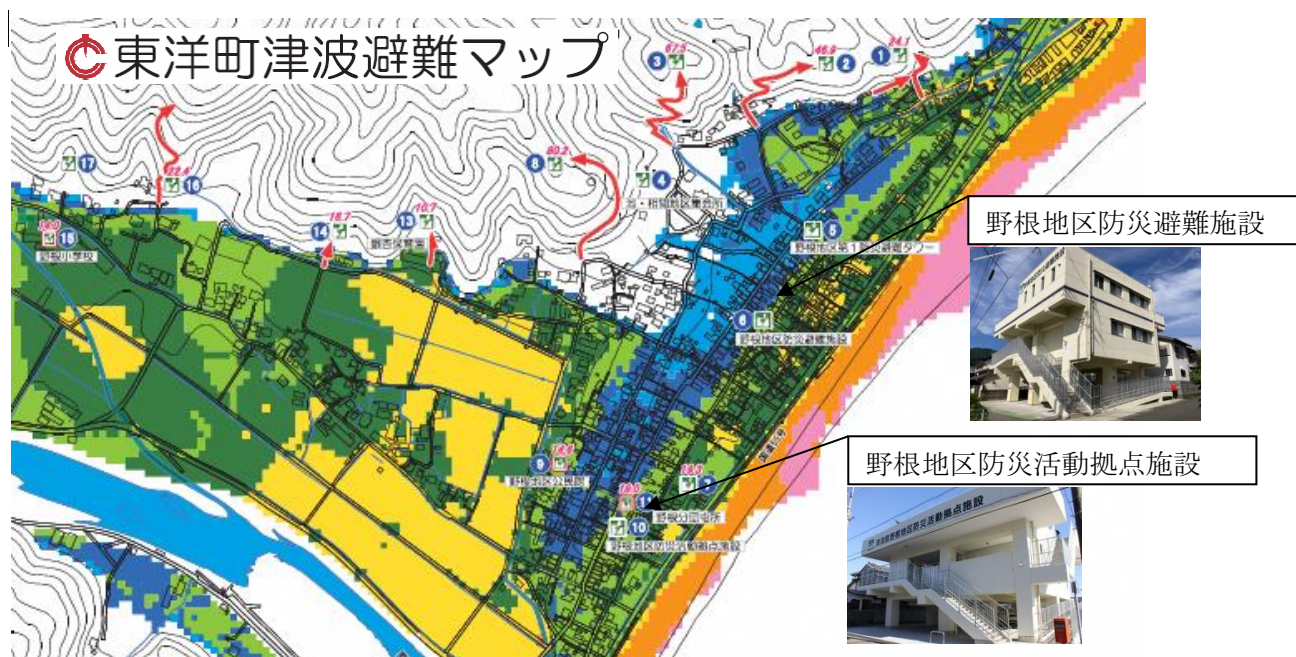
2. 生見地区（図2）

東洋町の支援物資集積場所は東洋町防災備蓄倉庫（東洋町防災ヘリポート隣接）を指定し、生見地区の支援物資配送拠点場所は東洋町地域防災センターを指定する。



3－1．野根地区（図3）

野根地区の支援物資配送拠点場所は、野根地区防災避難施設と野根地区防災活動拠点施設を指定する。



3－2．野根名留川地区（図4）

野根名留川地区の支援物資配送拠点場所は、野根地区防災備蓄倉庫を指定する。



4. 災害時に孤立が想定される奥三地区への支援物資の配送（図5）

大斗地区、川口地区、真砂瀬地区の支援物資配送拠点場所は、大斗沈下橋下流の臨時ヘリポート施設を指定する。



臨時ヘリポート施設



第2節 東洋町防災備蓄倉庫概要

1. 東洋町防災備蓄倉庫周辺図

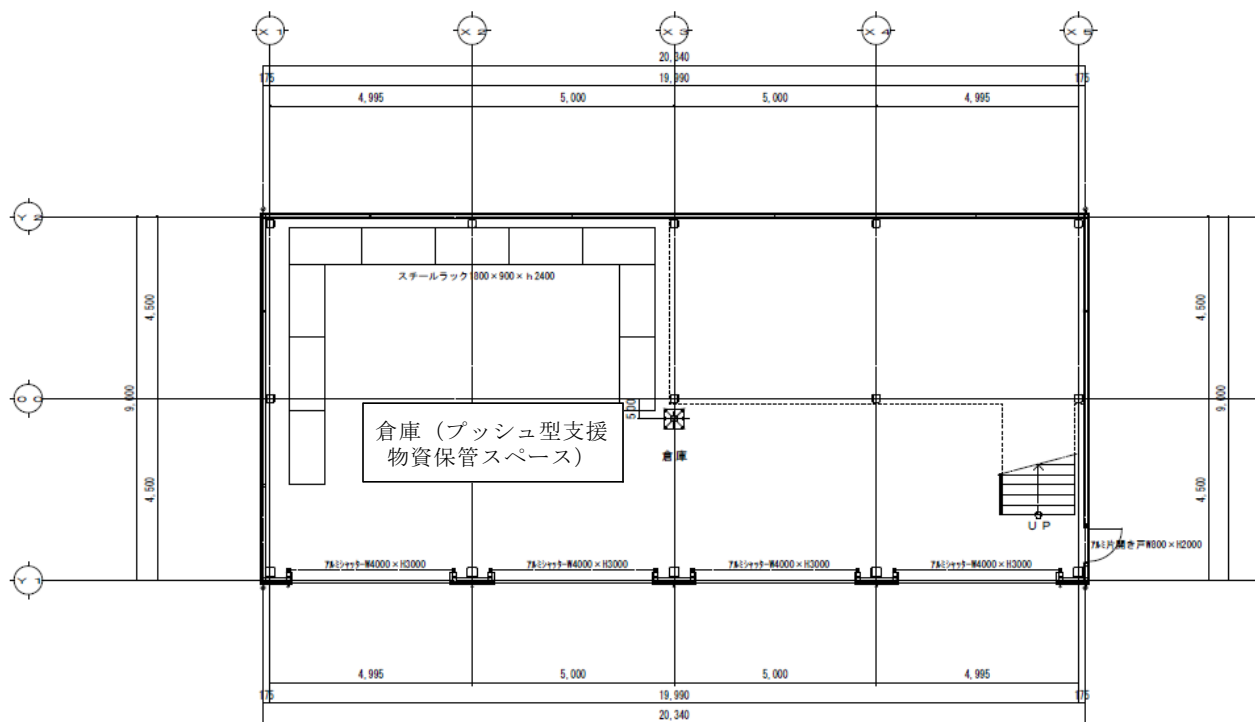
東洋町防災備蓄倉庫の周辺図は以下のとおりであり、図中①のスペースに県トラックが駐車し、物資の積卸しを行うこととする。



〈拡大図〉



2. 東洋町防災備蓄倉庫平面図



3. 東洋町防災備蓄倉庫諸元

敷 地	敷地面積：7,384.0 m ²
構造・階数	鉄骨造・2F
建 築 面 積	194.15 m ² 延床面積：231.05 m ²
施設内機能	1 階床面積：183.060 m ² 支援物資管理スペース（1 階備蓄物資保管スペース）
備 考	正面出入り口を配送車両（公用車）への積み込みスペースとして利用する。

第 3 章 想定物資数量及び配送手段

第 1 節 備蓄物資及び流通備蓄物資

1. 備蓄物資

東洋町では、東洋町防災備蓄倉庫を集中備蓄を行っている拠点倉庫として運用しつつ、一部の各避難所及び避難場所等に備蓄を行っている。

全町民を在宅避難も含めた避難対象者とし、最低 3 日分の食料・飲料水等の備蓄を数値目標としている。

資料編 1 に、令和 4 年 3 月 31 日時点の備蓄品の保管状況を示す。

なお、備蓄物資の保管場所及び数量については常に変動するものであるため、備蓄に関する最新の情報は、東洋町が管理する台帳を参照すること。

2. 流通備蓄物資

流通備蓄物資は、被災者に対して発災後できるだけ早期に飲料水を提供するものであり、協定締結企業等からの物資供給を受けて避難者に配布する。流通備蓄物資に係る協定の概要を資料編 2 に示す。

第 2 節 支援物資

1. プッシュ型支援物資

プッシュ型支援物資は、国から室戸広域公園を経由して供給されるものであり、東洋町に対しては、発災が 4 日目から 7 日目までの受入総量と 1 日あたりの最大受入量として、次の表に示す物資量が想定される。なお、1 日あたりの最大受入量は、食料については消費期限の制約から 1 日単位で配送されるため、発災後 4 日目から 7 日目の最大量とし、食料以外は受入総量の 50% とする。

	受入数量		1日あたりの最大受入量		備考
	数量	箱数	数量	箱数	
食料	20,992 食	350	5,372	90	60食/箱
毛布	2,397 枚	240	1,199	120	10枚/箱
乳児用調製粉乳	5.75 kg	1	3	1	8.9kg/箱
小児用おむつ	1,001 枚	6	501	3	168枚/箱
大人用おむつ	233 枚	3	117	2	88枚/箱
トイレ	27,484 回	138	13,742	69	200回/箱
トイレットペーパー	1,050 巻	11	525	6	96巻/箱
生理用品	1,309 枚	10	655	5	144枚/箱

出典：高知県物資配送計画 室戸広域公園 物資配送マニュアル（平成 30 年 3 月改定版）

2. プル型支援物資

発災初期のプッシュ型支援以降（発災後 8 日目以降）は、内閣府の提供する「物資調達・輸送調

「整等支援システム」を用いて、避難所ごとに必要とする物資の受け入れ及び配送を行うプル型支援へと移行する。

第3節 東洋町防災備蓄倉庫における物資配置

1. 東洋町防災備蓄倉庫での一時保管及び仕分けの対象となる物資の保管方法

プッシュ型及びプル型による支援物資は、東洋町防災備蓄倉庫の正面出入口に受け入れを行い、箱の状態で保管する。

2. 保管スペースの算定

高知県物資配送計画 室戸広域公園 物資配送マニュアルに基づき、保管に必要なスペースを次に示す。

	受入数量		箱寸法		箱保管想定		
	数量	箱数	底辺 [cm]	高さ [cm]	段数	床面 個数	必要面積 [㎡]
食料	20,992 食	350	42×30	22	7	50	6.3
毛布	2,397 枚	240	55×75	30	6	40	16.5
乳児用調製粉乳	5.75 kg	1	28.3×55.5	18.7	8	1	0.16
小児用おむつ	1,001 枚	6	40.5×26.5	39.4	4	2	0.22
大人用おむつ	233 枚	3	45.3×36.3	38.3	4	1	0.17
トイレ	27,484 回	138	36×57	46	4	35	7.19
トイレトーパー	1,050 巻	11	84×42	35	5	3	1.06
生理用品	1,309 枚	10	47.8×27.0	34	5	2	0.26
合計							31.86

上記から、受入総量を一時的に保管することのできる床面積が確保できており、同時に物資の搬出も行われていくことから、町外からの支援物資の受け入れ施設として十分な機能が果たせると考える。

3. 物資配送業務

(1) 基本的な考え方

東洋町防災備蓄倉庫における物資配送業務は、下記の条件を基本とする。

- ・ 配送手段は公用車による配送を想定する。
- ・ 東洋町防災備蓄倉庫の物資担当職員は、物資の受け入れから搬出までの対応を行うものとする。
- ・ 避難所での受け入れ及び配給については、避難所運営マニュアルに定める。

(2) 業務実施時間

業務実施時間は次に定める。

- ・ 支援物資の受け入れ：午前 9 時から午後 5 時までの間
- ・ 仕分け時間：午前 9 時から午後 5 時までの間を基本とし、必要に応じて延長
- ・ 物資配送（搬出）：午前 9 時から午後 5 時までの間

(3) 組織体系および業務手順

県からの支援物資は、トラック配送またはヘリ配送により供給される。この場合の業務の流れ及び概要を資料編 3 に示す。

4. 使用する帳簿類

備蓄物資配送やプッシュ・プル型の各支援物資配送で使用する帳票類を以下に示す。なお、様式は別途定めるが、緊急時には同等の内容を補完する資料等により対応することも可能とする。

帳票類	内容	担当	備考
ニーズ調査票	避難者の物資ニーズを取りまとめる帳票	総括・記録	
要請／発注表	ニーズ調査票の物資内容を取りまとめ、町の必要物資を整理し、県等の外部へ要請するために使用する帳票。	総括・記録	
出荷連絡票 (県)	県備蓄物資配送及びプッシュ型支援物資配送において支援物資の品目や数量を記載した帳票。	受け入れ・仕分け 搬出	県配送トラック運転手等から受け取る
出荷連絡票 (避難所等)	避難所等への町備蓄物資の配送、プッシュ型支援物資の仕分け、配送に利用する帳票。	受け入れ・仕分け 搬出	
出入庫管理票	東洋町防災備蓄倉庫への支援物資の入庫及び出庫を管理するもの。	総括・記録	
在庫一覧表	出入庫管理票を集計して、東洋町防災備蓄倉庫の保管物資を管理するもの。	総括・記録	

第 4 章 事前準備

第 1 節 荷役設備と資機材の調達

東洋町防災備蓄倉庫における物資配送業務において必要となる資機材は以下のとおりであり、発災時にはこれらを施設内に準備する。

項目	数量	保管場所	備考
台車	3 台	東洋町防災備蓄倉庫内	物資の運搬用
投光器	1 台	東洋町防災備蓄倉庫内	停電時を想定
ハンドリフター	1 台	東洋町防災備蓄倉庫内	
コードリール	1 台	東洋町防災備蓄倉庫内	
軍手	50 双	東洋町防災備蓄倉庫内	
ブルーシート	2 枚	東洋町防災備蓄倉庫内	

第 2 節 緊急通行車両の事前届出

「緊急通行車両の事前届出制度」は、災害発生時における緊急通行車両及び規制除外車両の確認事務の省力化・効率化を図るために、災害対策活動に使用される車両について事前に届出をする制度である。

緊急通行車両として交通規制区間に侵入する場合は「標章」の交付を受ける必要があり、申請者からの「緊急通行車両申請」と高知県警察による「車両確認」を受けた後に「標章」が交付される。

事前届出制度は、「緊急通行車両申請」と「車両確認」を事前に済ませておくものであり、災害発生後の「標章」交付までの時間の短縮を図ることができる。

なお、東洋町においては、事前届出は完了しており、今後の車両更新等についても、同様の体制の維持に努める。

第 3 節 避難所配送系統の事前設定

県等からの支援物資は東洋町防災備蓄倉庫にてその総量の受け入れを実施するとともに、各避難所、地区防災倉庫への配送については、避難所への距離等を勘案し、複数の配送系統を事前設定することで、無駄の無い配送を実施するよう努めるものとする。

東洋町防災備蓄倉庫からの配送系統については、資料編 4 に示す。

【資料編】

1) 備蓄物資保管状況 (第3章第1節1関係)

防災備蓄品一覧表

施設名	小項目	物資詳細	在庫数	単位	備考
甲浦東地区防災広場倉庫	移動かまど	LPガス薪焚併用	1	台	
甲浦東地区防災広場倉庫	調理用品20点セット	料理鍋、やかん、包丁等	1	セット	
甲浦東地区防災広場倉庫	避難所用簡易間仕切り	高さ1.2m	40	張	
甲浦東地区防災広場倉庫	避難所用更衣室・授乳室	プライバシールーム	3	張	
白浜海岸津波避難タワー	簡易トイレ	ワンタッチトイレ	2	台	
白浜海岸津波避難タワー	トイレ処理袋	トイレ消耗品セット1箱200回分	1	箱	
白浜海岸津波避難タワー	毛布	備蓄用不織布毛布	100	枚	
東洋町防災備蓄倉庫	缶詰	カツオの和だし生姜煮ごり風(3年)	576	缶	
東洋町防災備蓄倉庫	水	室戸海洋深層水12年保存水(2L)	120	本	
東洋町防災備蓄倉庫	水	室戸海洋深層水(県備蓄品)	540	本	
東洋町防災備蓄倉庫	簡易トイレ	ワンタッチトイレ	18	台	
東洋町防災備蓄倉庫	簡易トイレ用テント	ワンタッチ設営テント	12	張	
東洋町防災備蓄倉庫	トイレ処理袋	トイレ消耗品セット1箱200回分	169	箱	
東洋町防災備蓄倉庫	要援護者用トイレ	トリプルエース兼用型	2	台	
東洋町防災備蓄倉庫	移動かまど	LPガス薪焚併用	1	台	
東洋町防災備蓄倉庫	調理用品20点セット	料理鍋、やかん、包丁等	1	セット	
東洋町防災備蓄倉庫	避難所用簡易間仕切り	高さ1.2m	28	張	
東洋町防災備蓄倉庫	避難所用更衣室・授乳室	プライバシールーム	15	張	
東洋町防災備蓄倉庫	ベッド	多目的ベッド	39	台	
東洋町防災備蓄倉庫	毛布	備蓄用不織布毛布	290	枚	
東洋町防災備蓄倉庫	ソーラー蓄電機	防水蓄電くん	5	台	
東洋町防災備蓄倉庫	真水製造機	シーアクア	1	台	
東洋町防災備蓄倉庫	発電機	ホンダEV26i	1	台	
東洋町防災備蓄倉庫	LEDバルーン投光機	LB080WS-F	1	台	
東洋町防災備蓄倉庫	衛星携帯電話	ドコモワイドスターⅡ	1	台	
東洋町防災備蓄倉庫	遺体収容袋	セレモバッグNT-01	20	枚	
東洋町地域防災センター	缶入りソフトパン(黒糖)	1箱24缶入り(5年)	209	缶	
東洋町地域防災センター	医療ガーゼ(12折)	1箱100袋入 7.5cm×7.5cm	10	箱	
東洋町地域防災センター	弾力ホータイ	1箱6巻入 10cm×4.5cm	6	箱	
東洋町地域防災センター	弾力ホータイ	1箱6巻入 7.5cm×4.5cm	6	箱	
東洋町地域防災センター	弾力ホータイ	1箱6巻入 5cm×4.5cm	3	箱	
東洋町地域防災センター	ナビロールプラスチック手袋L	1箱100枚入	2	箱	
東洋町地域防災センター	ナビロールプラスチック手袋M	1箱100枚入	3	箱	
東洋町地域防災センター	検査・検診用手袋	1箱20双入	4	箱	
東洋町地域防災センター	縫合針	エルプ糸付縫合針 1箱10本入	6	箱	
東洋町地域防災センター	ポアテープ	1箱12巻入	4	箱	
東洋町地域防災センター	キズテープM	1箱40枚入	32	箱	
東洋町地域防災センター	綿棒	1個200本入	10	個	
東洋町地域防災センター	救急箱		2	箱	
東洋町地域防災センター	マスク		7000	枚	
東洋町地域防災センター	バスタオルA(黄色)		9	枚	
東洋町地域防災センター	バスタオルB(白地)		5	枚	
東洋町地域防災センター	タオルA(白地箱入り)		10	箱	
東洋町地域防災センター	日用品セット		8	個	
東洋町地域防災センター	衛星携帯電話	ドコモワイドスターⅡ	1	台	
東洋町地域防災センター	ブルーシート	3.6m×5.4m	6	枚	
東洋町地域防災センター	非常用飲料水用袋	1袋6L	240	袋	
東洋町地域防災センター	段ボール		10	箱	

野根地区防災活動拠点施設	避難所用簡易間仕切り	高さ1.2m	8	張	
野根地区防災活動拠点施設	避難所用更衣室・授乳室	プライベートルーム	2	張	
野根地区防災活動拠点施設	ベッド	多目的ベッド	5	台	
野根地区防災活動拠点施設	衛星携帯電話	ドコモワイドスターⅡ	1	台	
野根地区防災備蓄倉庫	移動かまど	LPガス薪焚併用	1	台	
野根地区防災備蓄倉庫	調理用品20点セット	料理鍋、やかん、包丁等	1	セット	
野根地区防災備蓄倉庫	真水製造機	シーアクア	1	台	
野根地区防災備蓄倉庫	LEDバルーン投光機	LB080WS-F	1	台	
野根地区防災避難施設	水	室戸海洋深層水	60	本	
野根地区防災避難施設	簡易トイレ	ワンタッチトイレ	2	台	
野根地区防災避難施設	トイレ処理袋	トイレ消耗品セット1箱200回分	1	箱	
野根地区防災避難施設	避難所用簡易間仕切り	高さ1.2m	4	張	
野根地区防災避難施設	ベッド	多目的ベッド	2	台	
野根地区防災避難施設	毛布	備蓄用不織布毛布	20	枚	
野根地区防災避難施設	ソーラー蓄電機	防水蓄電くん	1	台	
地区防災倉庫	簡易トイレ	ワンタッチトイレ	78	台	
地区防災倉庫	簡易トイレ用テント	ワンタッチ設営テント	78	張	
地区防災倉庫	トイレ処理袋	トイレ消耗品セット1箱200回分	39	箱	
地区防災倉庫	ベッド	多目的ベッド	11	台	
地区防災倉庫	毛布	備蓄用不織布毛布	390	枚	

2) 流通備蓄物資に係る協定の概要 (第3章第1節2関係)

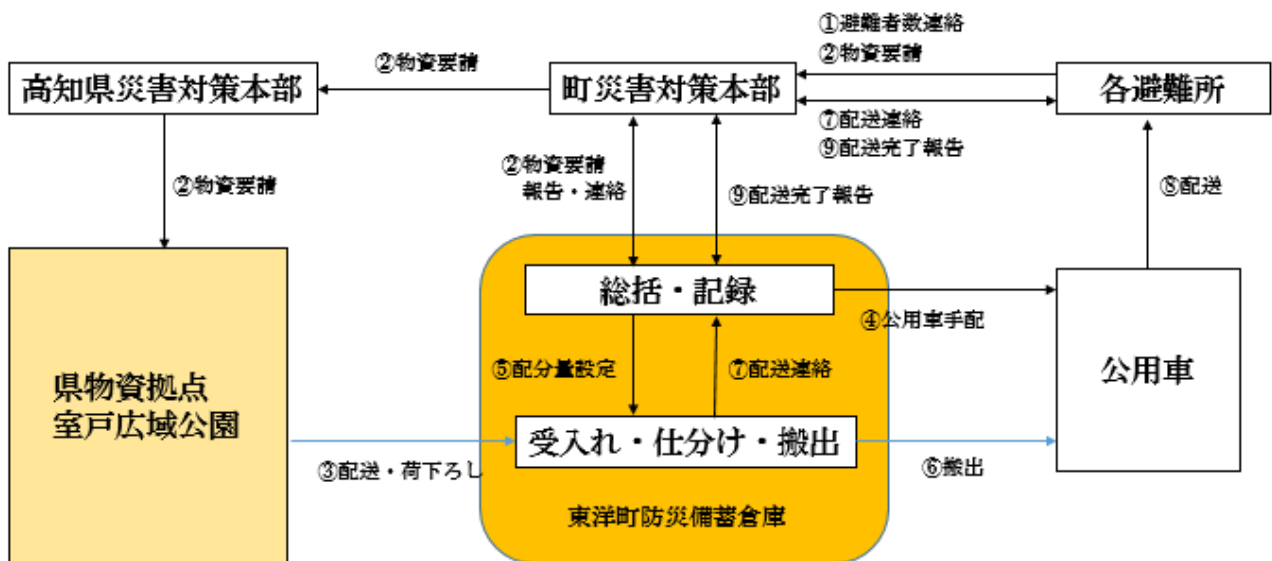
2-1 飲料・食料に関する協定

協定名称	協定締結先	連絡先
災害時における救援物資の提供に関する協定	四国コカ・コーラボトリング(株)	TEL:0884-22-1828 (阿南営業所)

3) 組織体系及び業務手順

3-1 県からトラック配送で物資が供給される場合

連絡調整（物資調達・輸送訓練等支援システム）

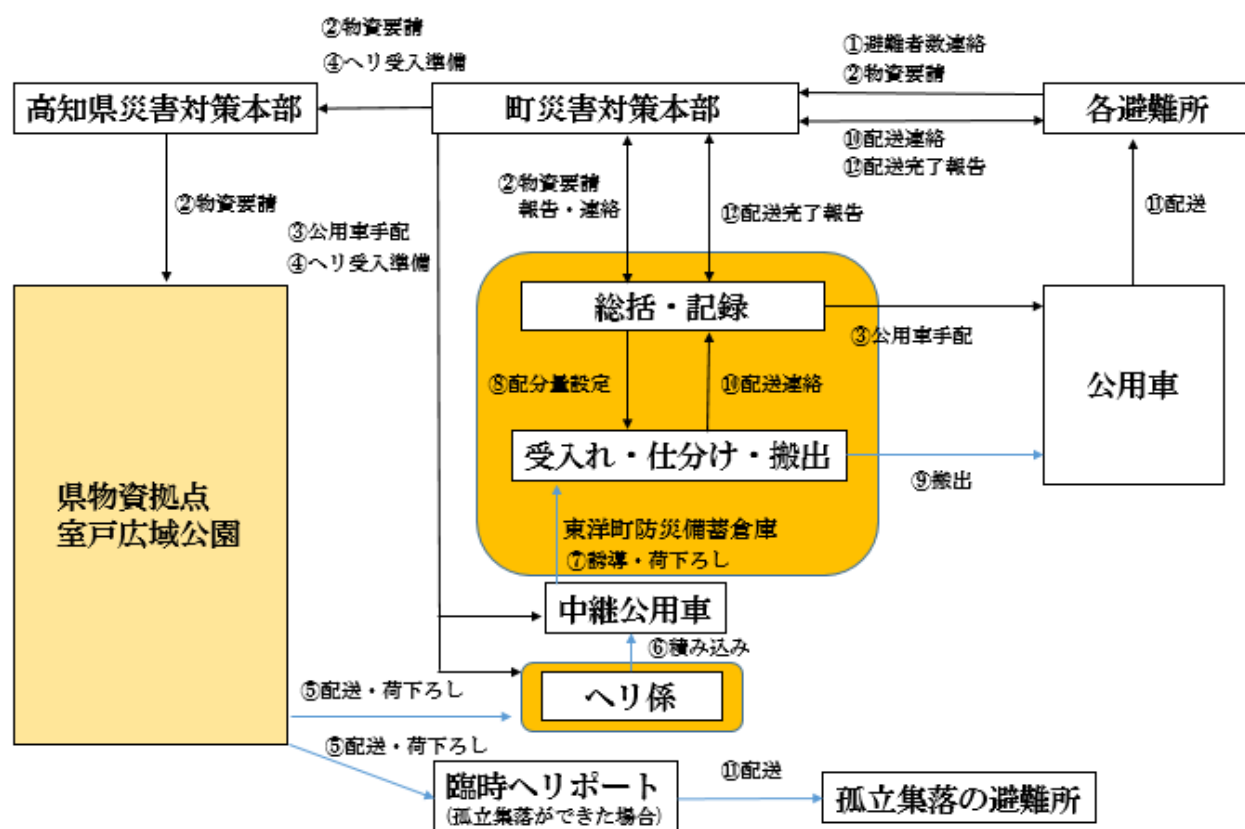


項目	業務項目	業務概要
1	避難者数連絡	<町対策本部> ・避難者数と不足している物資の品目・数量の連絡を受ける。 ・各避難所から得られた情報を整理し、必要物資量を算定する。
2	物資要請	<東洋町防災備蓄倉庫 総括・記録> ・町災害対策本部から必要物資の品目と数量の要請を受ける。 ・在庫を確認し、町備蓄物資による供給が可能か判断する。 ・町災害対策本部に、物資の在庫状況等を報告する。
3	配送・荷下ろし (県トラック)	<東洋町防災備蓄倉庫 受け入れ・仕分け・搬出> ・県トラックが到着したら、物資拠点の搬入口に誘導する。 ・物資の荷下ろし後、搬入・仕分け作業を行う。
4	車両手配	<東洋町防災備蓄倉庫 総括・記録> ・各避難所への配分量から、必要車両（公用車を想定）台数を算定する。 ・配送業者等に連絡し、車両を手配する。
5	配分量設定	<東洋町防災備蓄倉庫 総括・記録> ・県から配送された物資を整理し、各避難所への配分を決定する。 ・各避難所への配分量を、搬出担当及び各避難所に連絡する。
6	搬出	<東洋町防災備蓄倉庫 受け入れ・仕分け・搬出> ・各避難所の配分量に応じた物資の積み込みを行う。 ・運転手に配送先と品目を伝える。

7	配送連絡	<東洋町防災備蓄倉庫 受け入れ・仕分け・搬出> ・出荷連絡票（控え）を総括担当に渡す。 <東洋町防災備蓄倉庫 総括・記録> ・出入庫管理票に、出庫した物資の品目と数量を記録する。
8	配送	<運転手> ・物資を避難所に配送する。
9	配送完了報告	<東洋町防災備蓄倉庫 総括・記録> ・配送完了報告を、運転手または、配送先の避難所から受ける。 ・町災害対策本部に、配送を完了した品目と数量を報告する。

※ プッシュ型支援の場合は、項目3以降を実施する。

3-2 県からヘリ配送で物資が供給される場合



項目	業務項目	業務概要
1	避難者数連絡	<町災害対策本部> - 避難者数と不足している物資の品目・数量の連絡を受ける。 - 各避難所から得られた情報を整理し、必要物資量を算定する。
2	物資要請	<東洋町防災備蓄倉庫 総括・記録> - 町災害対策本部から必要物資の品目と数量の要請を受ける。 - 在庫を確認し、町備蓄物資による供給が可能か判断する。 - 町災害対策本部に、物資の在庫状況等を報告する。
3	車両手配	<東洋町防災備蓄倉庫 総括・記録> - 各避難所への配分量から、必要車両（公用車を想定）台数を算定する。 - 配送業者等に連絡し、車両を手配する。
4	ヘリ受入準備	<東洋町防災備蓄倉庫 総括・記録> - 町災害対策本部から、ヘリ配送の連絡を受ける。 - ヘリポート開設状態を確認しヘリが離着陸可能な状態を整える。

5	配送・荷下ろし	<東洋町防災備蓄倉庫 ヘリ係> ・担当の職員が車両に同乗し、ヘリポートへ向かう。 ・ヘリ搭乗者が指示する場所に停車し、物資の荷下ろしを行う。 ・ヘリ搭乗者の出火連絡票にサインし、控えを受け取る。
6	積み込み	<東洋町防災備蓄倉庫 ヘリ係> ・車両へ物資を積み込み、東洋町防災備蓄倉庫へ移動する。
7	誘導・荷下ろし	<東洋町防災備蓄倉庫 受け入れ・仕分け・搬出> ・ヘリから運ばれた物資を集積倉庫にて受け取る。 ・受け入れ、仕分け作業を行う。
8	配分量設定	<東洋町防災備蓄倉庫 総括・記録> ・県から配送された物資を整理し、各避難所への配分を決定する。 ・各避難所への配分量を、搬出担当及び各避難所に連絡する。
9	搬出	<東洋町防災備蓄倉庫 受け入れ・仕分け・搬出> ・各避難所の配分量に応じた物資の積み込みを行う。 ・運転手に配送先と品目を伝える。
10	配送連絡	<東洋町防災備蓄倉庫 受け入れ・仕分け・搬出> ・出荷連絡票（控え）を総括担当に渡す。 <東洋町防災備蓄倉庫 総括・記録> ・出入庫管理票に、出庫した物資の品目と数量を記録する。
11	配送	<運転手> ・物資を避難所に配送する。
12	配送完了報告	<東洋町防災備蓄倉庫 総括・記録> ・配送完了報告を、運転手または、配送先の避難所から受ける。 ・町災害対策本部に、配送を完了した品目と数量を報告する。

※ プッシュ型支援の場合は、項目3以降を実施する。

4) 備蓄倉庫及び避難所への配送系統

